

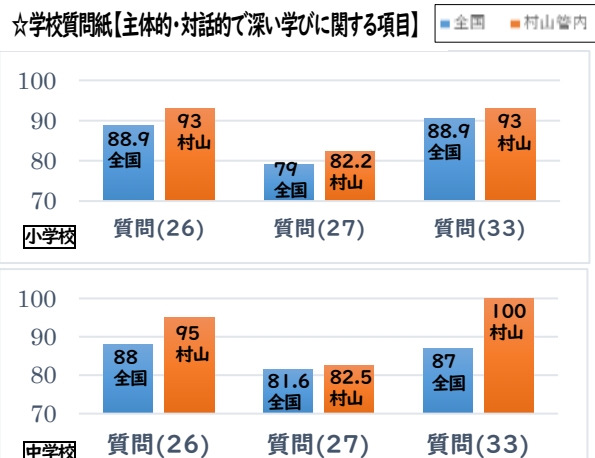


全国学力・学習状況調査の結果から **授業改善** について考える

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、村山教育事務所指導課では、村山管内の状況を分析し、児童生徒質問紙と学校質問紙から①「主体的・対話的で深い学びからの授業改善」②「個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する状況」③「個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びにおけるICTの活用状況等」に着目して、授業改善のポイントを見出しました。各校の分析と課題に応じた授業改善の参考にしてみてください。

児童生徒質問紙と学校質問紙から

① 主体的・対話的で深い学びに関する項目に肯定的な回答をしている学校の割合は、全国を上回っています。
一方で、対応する児童生徒質問紙の回答状況は学校質問紙の肯定的な回答の割合を下回っており、意識の差が感じられます。全国的には、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。今回の結果からは、各校における授業改善の取組への熱意が、児童生徒の主体的に学びに向かう力や知識及び技能、思考力、判断力、表現力等の習得・活用に、十分には結びついていない状況も見られます。



主体的・対話的で深い学びを実現するために…

② 協働的な学びについて肯定的な回答をしている学校の割合は、小・中学校ともに高くなっています。
また、児童生徒の回答は、全国と同程度となっています。すべての子供たちの可能性を最大限に引き出し、多様なニーズに応えるためには、教師一人による紙ベースの一斉授業スタイルを、児童生徒が自分の都合やタイミングで情報にアクセスし、自分に必要な知識や経験に出会い、自律的・個性的に学びを進めていける授業に改善していくことが求められています。こうした取組を通して、指導の個別化と学習の個性化の両面から個別最適な学びを進めるとともに、多様な他者の考えに触れる良さや楽しさなどの実感の伴った協働的な学びを一体的に充実させていくことが重要です。

実現するためのツールの1つとして…

③ 学校質問紙、児童生徒質問紙ともに、肯定的な回答をしている割合が全国を下回っている項目が多く見られます。タブレットを調べるためのツールとしてばかりでなく、整理・分析、まとめ・表現、教師や児童生徒同士のやりとりなど、さまざまな学習の場面で活用し、効果的な活用の仕方を探っていくことが必要です。ぜひ、各学校で、ICTの効果的な活用を図りながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の観点からの授業改善を充実していきましょう。

☆村山教育事務所指導課「確かな学力」を育成するための授業改善シート・「生徒指導の実践上の視点」を生かした授業づくり～教師用振り返りシート～も活用いただきながら、子供たちの無限の可能性を引き出すために、これからも日常の授業づくりに取り組んでいきましょう。



コミュニティ・スクール・地域学校協働活動 出前講座

村山教育事務所指導課・社会教育課では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて、様々なテーマで出前講座を実施しております。今年度も、管内の学校、教育委員会等から要請をいただき、計8回の講座を実施して参りました。

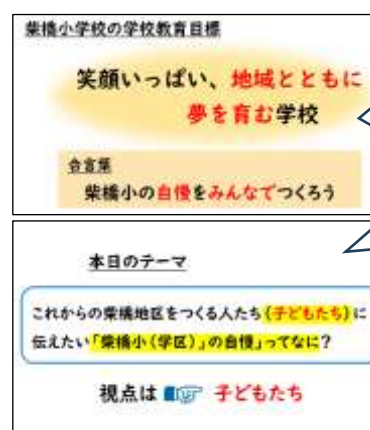
これまで実施した講座では、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」、「地域学校協働活動と社会に開かれた教育課程との関わり」等のテーマで研修を深めてきました。今回は、熟議をテーマに研修を深めた寒河江市立柴橋小学校の講座の様子を紹介します。

(本講座は第2回学校運営協議会において学校運営協議会委員を対象に実施)

説明「CSにおける熟議の位置づけ、熟議をCS運営に活かす」

- ・CSと地域学校協働活動の一体的推進を図るうえで協働による取組を生み出すことが重要
- ・地域の幅広い世代、多様な立場の人々が方向性を共有することが協働による取組につながる
- ・自由闊達な議論を保証し、方向性を共有するうえで有効な手法が熟議である

模擬熟議体験



今回の熟議の目的は、学校教育目標と、合言葉「柴橋小の自慢をみんなでつくろう」を受けて、皆さん一人一人が「どんな子供に…」、「どんな地域に…」という方向性を共有することです。

柴橋小の自慢をつくる子供たち、これからの柴橋地区をつくる子供たちに対して、皆さんは柴橋小(学区)のどんな自慢(ヒト・モノ・コト…)を伝えたいですか？

豊かな気候、風土に恵まれている自然かな。

気候、風土を生かした農業も盛んだよね。

地域の人のふれあい、顔の見えるお付き合いが素晴らしい！

学校教育目標と合言葉を受けたテーマのもと、委員の皆さんは「子供たちに伝えたい」という視点で柴橋小・柴橋学区を見つめ直し、笑い声も起こる和やかな雰囲気の中で意見を交わしていました。「豊かな自然」、「誇れる歴史」、「盛んな農工業」、「温かいつながり、ふれあい」など、大まかに見えてきた共通の方向性を今後も意識しながら既存の活動と関連づけて意図的に取り組むことや、それぞれの立場でそれぞれの役割をそれぞれのタイミングで果たす協働による取組が学校づくり、地域づくりにとって不可欠なものだということを実感いただけた様子でした。

第12回 山形県自作視聴覚教材コンクール

応募してみませんか？

主催：山形県教育委員会
後援：(公財)山形県生涯学習文化財団

山形県の自然、歴史、風土、伝説、文学、文化財、産業、地域課題等、郷土の学びに資するものを募集しています。

応募期間：令和5年12月1日(金)から12月7日(木)
応募部門：学校教育部門・社会教育部門・児童生徒作品部門
応募種別：デジタルコンテンツ(映像教材、プレゼンテーションソフト等)
手作り作品(紙しばい、かるた等)



◆令和5年度 全国自作視聴覚教材コンクール入選◆
令和3年度大石田町立大石田南小学校4年生様
「大石田笑顔満開プロジェクト」(デジタルコンテンツ)

